

第15回

吉野熊野国立公園西大台地区利用適正化計画検討協議会

議事次第

日時：平成24年2月28日（火）

13：00～14：30

場所：上北山村振興センター

（奈良県吉野郡上北山村河合）

1. 挨拶

2. 議事

- （1）平成23年度の西大台利用調整地区の利用の結果について
- （2）今後の協議会の在り方について

3. その他

第15回吉野熊野国立公園西大台地区 利用適正化計画検討協議会

出席者名簿

<自然環境等に関する専門家・研究者>

田村 義彦	大台ヶ原・大峰の自然を守る会 会長
長嶋 俊介	鹿児島大学国際島嶼教育研究センター 教授
西田 正憲	奈良県立大学 教授 (ご欠席)
日比 伸子	特定非営利活動法人 西日本自然史系博物館ネットワーク
村上 興正	元京都大学 講師 (ご欠席)
横田 岳人	龍谷大学 准教授

<関係行政機関>

奈良県地域振興部南部振興課	(ご欠席)
奈良県くらし創造部自然環境課 大台ヶ原管理事務所	山中 崇史 課長補佐 田垣内 政信 主任技能員
三重県環境森林部自然環境室	(ご欠席)
上北山村建設産業課	遠藤 学 主幹 安田 貴生 主事
川上村地域振興課	杉村 佳隆 主事
大台町産業課	野呂 泰道 課長

<関係団体等>

上北山村議会経済常任委員会	(ご欠席)
上北山村観光協会 上北山村区長会	(ご欠席)
上北山村漁業協同組合	金山 進英 組合長
上北山村商工会	中谷 守孝 会長 金岩 修平 経営指導員
(財) グリーンパークかわかみ	(ご欠席)
大杉谷自然学校	(ご欠席)
山岳ガイドクラブ 北山いこら	(ご欠席)
奈良県勤労者山岳連盟	由良 行基周 自然保護委員長
奈良県山岳連盟	野田 健司 理事・自然保護委員
奈良県タクシー協会	(ご欠席)
奈良交通(株)	(ご欠席)
(社) 日本山岳会関西支部	斧田 一陽 自然保護委員長
特定非営利活動法人 森と人のネットワーク・奈良	(ご欠席)
大台ヶ原パークボランティアの会	(ご欠席)
ワーク21上北山	(ご欠席)
吉野きたやま森林組合	下西 二郎 課長
一般社団法人 心湯治館	城内 勲 代表理事

<事務局>

近畿地方環境事務所	河原 武 統括自然保護企画官 藤井 好太郎 国立公園・保全整備課長 高橋 誠 公園計画専門官 坪倉 真 用地・国有財産専門官
吉野自然保護官事務所	七目木 修一 自然保護官
(株)スペースビジョン 研究所	宮前 保子 安場 浩一郎 幡 建樹

配布資料一覧

- 議事次第
- 出席者名簿
- 配席表
- 吉野熊野国立公園西大台地区利用適正化計画検討協議会設置要領

資料 1 平成 23 年度西大台利用調整地区の運用結果概要

資料 2 平成 23 年度吉野熊野国立公園西大台利用調整地区の
モニタリング評価について（案）

資料 3 大台ヶ原の利用に関する検討について

参考資料 1 各種調査から把握した利用者数と利用に係る諸条件の
日別一覧

参考資料 2 西大台利用調整地区「大台ヶ原周回線歩道事業」
個別事項対応案

参考資料 3 平成 24 年度西大台利用調整地区の運用計画

吉野熊野国立公園西大台地区利用適正化計画検討協議会 設置要領

(名 称)

1. この会議は、「吉野熊野国立公園西大台地区利用適正化計画検討協議会」（以下「協議会」という）と称する。

(目 的)

2. 協議会は、吉野熊野国立公園西大台地区を指定し、その利用の適正化を図るに当たり、吉野熊野国立公園西大台地区利用適正化計画（以下「利用適正化計画」という）の策定及び変更について協議し、円滑な実施協力に向けた合意形成を図ることを目的とする。

(検討事項)

3. 協議会は、次の事項を検討する。
 - (1) 利用適正化計画案の策定及び変更に関する事項
 - (2) その他、協議会の目的を達成するために必要な事項

(構 成)

4. (1) 協議会は、それぞれの役割に応じて利用適正化計画の実施に努めようとする者（関係行政機関、地域住民、関係団体、土地所有者、自然環境等に関する専門家・研究者、自然環境の保護・管理者、公園利用の管理・巡視実施者及び自然ふれあいプログラム実施者等）で、近畿地方環境事務所長（以下「事務所長」という。）と契約を締結した協議会事務局運営業務請負者が事務所長の指示に基づき委嘱する者をもって構成する。
 - (2) 請負業者は、事務所長の承認を得て、専門的な助言等を得るため、構成員以外の専門家や関係機関等の参画を求めることができる。
 - (3) 協議会は、構成員の2分の1以上の出席をもって開催することとする。

(構成員資格の喪失)

5. 構成員は、辞任、死亡、団体の解散及び解任によって、その資格を喪失する。

(辞任及び解任)

6. (1) 構成員を辞任しようとする者は、事務局に書面をもって連絡しなければならない。
 - (2) 協議会の運営に著しい支障をきたすと判断した場合には、協議会の合意により構成員を解任することができる。

(会 長)

7. 協議会に会長をおき、構成員の互選により選出する。会長は協議会の議長を務めるとともに、会務を統括する。

(運営・事務局)

8. (1) 協議会の事務局は近畿地方環境事務所とし、協議会の運営に関する事務を行う。
(2) その他運営に関して必要な事項は協議会で決定する。

(情報公開)

9. 協議会は公開で行う。ただし、貴重な動植物の保護、プライバシーの保護等、慎重な取り扱いを必要とする情報については、非公開とする。

(任期)

10. 構成員の任期は委嘱年度の3月31日までとする。

(要領改正)

11. この要領は、構成員の発議により、協議会の会議に出席した構成員の合意を得て、改正することができる。

(附則)

12. この要領は平成18年2月26日から施行する。
平成19年8月30日 一部改正
平成22年4月16日 一部改正

平成 23 年度西大台利用調整地区の運用結果概要

1. 西大台利用調整地区の利用実態

(1) 認定関係事務等の実施状況

① 認定者数

指定認定機関（上北山村商工会）が平成 23 年 1 月 24 日(月)から受付を開始した認定関係事務を通じ、認定手続きの実施状況を把握した。

- 平成 23 年度の認定者数は 2,062 人で、昨年度の 1,708 人より 354 人増加した。（表 1 参照）

表 1：認定者数、レクチャー受講者数等（平成 23 年度）

	認定者数	レクチャー 受講者数	受講免除者数	キャンセル数
4 月	56	40 (71.4%)	0 (0.0%)	16 (28.6%)
5 月	524	424 (80.9%)	6 (1.1%)	94 (17.9%)
6 月	249	176 (70.7%)	7 (2.8%)	66 (26.5%)
7 月	154	134 (87.0%)	1 (0.6%)	19 (12.3%)
8 月	285	264 (92.6%)	0 (0.0%)	21 (7.4%)
9 月	129	50 (38.8%)	4 (3.1%)	75 (58.1%)
10 月	512	388 (75.8%)	40 (7.8%)	84 (16.4%)
11 月	153	128 (83.7%)	4 (2.6%)	21 (13.7%)
合計	2,062	1,604 (77.8%)	62 (3.0%)	396 (19.2%)

注) () 内は、各月の認定者数に対する割合を示す。

② 事前レクチャーの実施状況

平成 23 年度の立入認定者に対する事前レクチャーを下記の通り実施した。

- 認定者 2,062 人（H22：1,708 人）の内、複数回認定により受講を免除された人が 62 人（H22：34 人）、立入をキャンセルした人が 396 人（H22：173 人）おり、レクチャー受講者は 1,604 人（H22：1,501 人）であった。平成 23 年度は、台風やアクセス道路の通行止めなどによりキャンセル者数が多くなった。（表 1 参照）

(2) 巡視及び違反者等への指導状況

利用調整期間中、毎日巡視を実施し、無認定立入り者への指導、無認定立入りの防止を行った。指導件数・人数は、平成 22 年度から若干減少し、違反の未然防止件数・人数も若干減少した。

- 巡視により、無認定の立入り者合計 6 件、延べ 8 人を確認し、注意・指導を行い、利用調整地区からの退出等を指示した（平成 22 年度はそれぞれ 8 件、16 人）。
- 無認定で立入ろうとした人、合計 17 件、延べ 29 人に対して、入口で注意するなどして、違反の未然防止を行った（平成 22 年度はそれぞれ 20 件、35 人）。

(3) 西大台利用調整地区の入山者数（入山者カウント数、推定立入人数）

利用調整地区の「認定者数」から「キャンセル数」を減じた「入山者数（推定立入人数）」を集計した。

- ・今年度の入山者数は、1,666人（H22：1,535人、H21：1,123人、H20：1,156人）であった。
- ・西大台地区の利用調整地区運用前までの入山者数（入山者カウント数）は年間5千人程度であったが、運用直後の入山者数（推定立入人数）は年間千人程度にまで減少し、その後は微増している。
- ・今年度は台風の影響等もあり、キャンセルが2割程度あり、認定者数自体は2,062人（H22：1,708人、H21：1,273人、H20：1,288人）であった。
- ・平成23年度は6月1日～19日の期間を利用集中期として、上限人数を拡大したが、この期間の土日は雨天が多かったため、6月の入山者数は平成22年度よりも減少した。

表2：西大台地区の入山者数の推移（月別）

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
4月	80	179	166	51	43	21	40
5月	1,134	712	1,242	188	298	203	430
6月	409	390	1,060	166	107	240	183
7月	373	552	1,967	84	74	96	135
8月	546	884	5,550	121	107	152	264
9月	586	434	131	70	84	117	54
10月	1,321	1,439	299	268	286	563	428
11月	647	656	175	208	124	143	132
合計	5,096	5,246	10,590	1,156	1,123	1,535	1,666

注1）H17～19年度は入下山者カウンターによる値（入山者数（入山者カウント数））。H20～23年度は「認定者数」から「キャンセル数」を減じた値（入山者数（推定立入人数））。

注2）4月の対象日数について、H17は4/28～30の3日間。H18は4/19～30の12日間。H19は4/20～30の11日間。H20は4/23～30の8日間。H21は4/21～30の10日間。H22は4/22～30の9日間。H23は4/22～30の9日間。

2. 利用調整地区の利用者意識

(1) 利用者意識に関するアンケート調査

事前レクチャーの内容改善等のため、また、西大台地区利用適正化計画の適正な運用に向けた利用者の自然に対する意識や利用マナー、行動内容、満足度等を把握することを目的に、事前レクチャー受講者に対してアンケート調査票（1,604件）を配布し、420件の回答を得た（回収率26.2%）。

■ 事前レクチャーの満足度について

- ・ 「長さ」について「ちょうど良い」と回答したのは75.5%であった。
- ・ 「内容（全体）」について「満足」や「やや満足」と回答したのは、計67.4%であった。
- ・ 「冊子」について「満足」や「やや満足」と回答したのは、計75.0%であった。

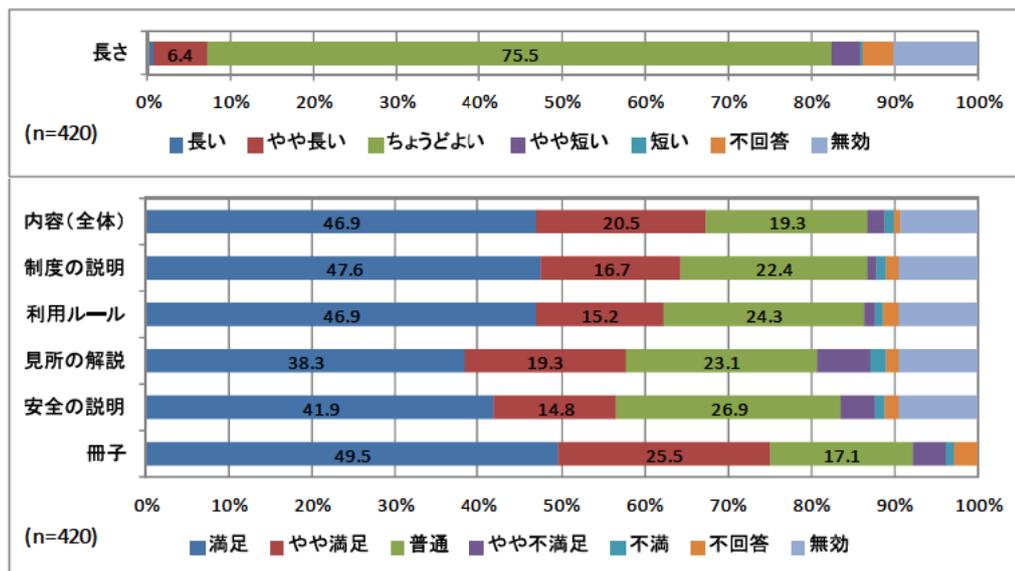


図1：事前レクチャーの満足度

■ 利用後の満足度について

- ・ 西大台の利用後の満足度について、「期待以上に良かった」や「期待通り良かった」と回答したのは、計73.3%であった。
- ・ 再訪の意向を示したのは、76.4%であった。

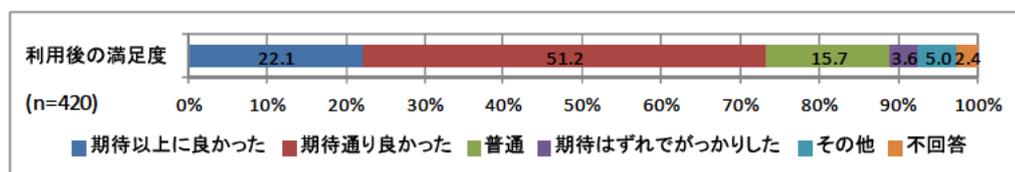


図2：西大台の利用後の満足度

3. 利用調整地区の利用施設

(1) 歩道状況調査

西大台利用調整地区の歩道及び過去に立入りが見られた箇所にて定点観測地点を設定し、洗掘、複線化、裸地化等の状況を調査した。なお、今年度は新たに、洗掘1箇所、複線化1箇所の調査地点を追加した。



写真1：今年度設定した複線化調査箇所(赤い吊橋付近)

■ 複線化について

- ・ 29箇所(今年度1箇所追加分は除く)のうち、19箇所(H22：18箇所)で複線化はほぼ解消し、4箇所(H22：9箇所)で解消傾向がみられた。しかし、中には、新たに複線化が生じた箇所(1箇所)や、設置した倒木の腐朽により再度複線化が生じた箇所(1箇所)もあった。



写真2：今年度設定した洗掘調査箇所(大台教会下付近)

■ 洗掘について

- ・ 9箇所(今年度1箇所追加分は除く)のうち、多くの調査箇所においては、昨年度と比較して、大きな変化はみられなかったが、今年度は、3つの台風が到来し、雨水の流下により洗掘が進行したり、段差が生じている箇所等において、滝壺のような局所的な洗掘がみられたり、歩道内に石礫が堆積したりして、荒廃が進んだ箇所もあった。

■ 裸地化について

- ・ セツ池の裸地化箇所では、特に変化がみられなかった。

■ 過去に立入りがみられた箇所

- ・ 過去に歩道外の立入りが見られた箇所(6箇所)については、既に植生が回復するなどしてルートが不明瞭になり、過去の歩道幅員自体が分かりづらくなっていた。植生の回復状況も、その経年変化を捉えられるものではなかった。

4. 自然ふれあいプログラムの提供等

(1) 西大台ガイド育成のための勉強会

西大台で効果的な自然解説などを行って行くために、平成22年度に作成したガイドテキストを用いて、自然解説の背景となる西大台の自然環境や歴史等、インタープリテーションの技法等について学ぶための勉強会を2回開催した。

- ・ 第1回は、座学として、西大台の自然資源や歩道等に関する情報交換を行うとともに、より充実したガイドにしていくために必要なこと、改善点などについて議論した。
- ・ 第2回は、現地において、西大台入口やナゴヤ谷、中ノ谷、セツ池などの解説ポイントで参加者にガイド役になって解説を行ってもらい、それに対して講師の方々や他の参加者から補足説明や、ガイドを受ける側に立った質問等を行った。

5. 普及啓発

(1) 西大台利用調整地区普及啓発ポスター・リーフレット等の作成・配布【予定】

広く一般を対象に、西大台利用調整地区の魅力や制度概要、立入認定手続きの方法、申請窓口等について周知、普及啓発するため、普及啓発ポスター400枚、リーフレット12,000部等を作成し、平成24年3月頃を目標に近鉄主要駅に掲出するとともに、関係機関、全国の山岳連盟、近畿圏の登山用品店等に幅広く配布する予定である。

(2) 利用調整地区制度の認知度等に関するアンケート調査

利用調整地区制度の認知度等を把握することを目的に、大台ヶ原利用者(150人)、登山用品等購買者(117人)、大台ヶ原関連イベント参加者(210人)に対して、アンケート調査を実施した。

- ・ 利用調整地区が大台ヶ原において指定されていることを正しく知っていたのは37.9%であり、指定されていることを知らなかったのは53.2%であった。(図3参照)
- ・ 制度の内容について、最も認知されていたのは、「事前の申請がなければ立入りができないこと」であり、西大台が利用調整地区に指定されていることを知っていた人の93.9%が認知していた。また、逆に最も認知されていなかったのは、「10人を超える団体では利用ができないこと」であり、同上の28.2%が認知していた。

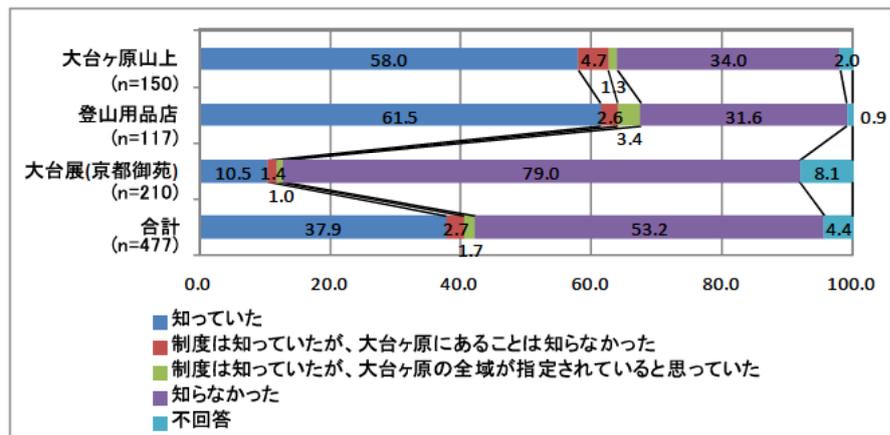


図3：利用調整地区の認知度

6. その他の取組

(1) 西大台歩道の在り方検討(参考資料2参照)

西大台地区の歩道では、歩道機能を維持するための修繕行為の捉え方等について、関係者間における考え方の幅が大きい状況にあった。西大台利用調整地区の歩道の荒廃を予防し、同時に利用環境の質を維持していくため、「西大台歩道の在り方検討ワーキンググループ」を設置し、3回に亘って、今後の歩道の維持修繕を進める際の方針等を検討した。

3回のWGを開催し、成果として、参考資料2の別添「西大台利用調整地区『大台ヶ原周回線歩道事業』個別事項対応案」を取りまとめた。



吉野熊野国立公園 大台ヶ原

訪ねたい風景がある
残したい自然がある



大台ヶ原の西側（西大台）に入るには、事前に手続きが必要です。

※東大台は手続きなしで入れます。

▶▶▶詳しくは、「西大台利用調整地区」で検索

手続き窓口 上北山村商工会 TEL:07468-3-0070

その他お問い合せ先 環境省吉野自然保護官事務所 TEL:0746-34-2202



環境省 近畿地方環境事務所

図 4：平成 23 年度西大台利用調整地区普及啓発ポスター

平成 23 年度吉野熊野国立公園西大台利用調整地区のモニタリング評価について（案）

吉野熊野国立公園西大台地区利用適正化計画に基づき、平成 23 年度西大台利用調整地区モニタリング調査を実施した。

定点写真撮影によると、利用調整の運用後 4 年が経過したが、まだ植生に目立った変化は生じていないものの、人為による新たな植生の悪化も認められなかった。一方ナゴヤ谷では蘚苔類の回復などの期待された変化が現れ始めていることから、現状は過剰利用からの回復過程と考えられる。ただし、過去の人の利用により歩道が複線化した箇所等では、降雨や動物の影響により現在も洗掘が続いており、蘚苔類の回復が妨げられている。このまま状況が悪化するようであれば、対策が必要な段階に達するおそれがある。また、昨年度の希少植物調査では人為による影響は確認されなかったが、今年度の調査では盗採とみられる希少植物の消失が 2 箇所確認された。さらに、平成 22 年度より、利用調整地区の指定以前からあった人の踏み分け道に簡易防鹿柵を設置し、シカの影響を排除した下での植生の回復状況のモニタリングを開始した。今年度の調査では、簡易防鹿柵内の調査区において、ヒメミヤマスミレ等の被度の回復が見られるなどの植生の回復傾向が現れ始めている。

利用調整地区の入山者数は、日最大 76 人で年間 1,200 人から 1,700 人程度で推移しており、利用調整地区運用前までの年間約 5,000 人と比べると利用集中を防ぐ効果が見られるものの、引き続き利用動向に注視していくとともに、歩道の複線化や洗掘が進行しないようモニタリングの継続が必要である。また、依然として無認定者の立入りが見られることから、引き続き巡視を行い、無認定者への指導を行う必要がある。認定者への事前レクチャーについても、ビジターセンター等からのヒアリングを行い、内容の一層の改善を図るべく検討を進める。

以上のことから、今後もモニタリングを継続し、評価することとする。なお、希少植物の盗採については、警察との合同パトロール等の対策を講じる予定である。

■ 大台ヶ原自然再生推進計画評価委員会森林生態系部会・利用対策部会で評価した自然環境の状態等に関する調査項目（平成 23 年調査実施分）

【植物】

調査項目	目的と指標	評価概要
植生調査	利用調整による、歩道周辺等における踏圧や種子の持ち込み等による植物相への負荷の軽減度合いを把握することを目的とする。その指標として、土壌硬度、植被率、国外外来種の植被率に着目する。	定点写真撮影を行った。ナゴヤ谷では蘚苔類の回復が見られた。大台教会下、七ッ池、大和谷上では植生に大きな変化は見られず、植生の悪化も認められなかった。
種子等 持ち込み 状況調査	利用調整地区内への国外外来種の種子の持ち込み状況を把握することを目的とする。その指標として、靴底等の泥に含まれる外来種に着目する。	植生調査、植生回復調査等において新たに外来種の侵入は確認されていない。

【植物】

調査項目	目的と指標	評価概要
植生回復調査	利用調整による、歩道周辺等における植生の維持および回復状況を把握することを目的とする。その指標として、草本層の植被率と高さに着目する。	<ul style="list-style-type: none"> Re-1～Re-6 において定点写真撮影を行った。経ヶ峰の踏み分け道で落葉が堆積し、踏み分け道が解りづらくなっている他は、大きな変化はみられず、植生の悪化も認められなかった。 H22 より人の利用による踏み分け道に簡易防鹿柵を設置し、シカの影響を排除した下での植生の回復状況をモニタリングする地点り人の利用による踏み分け道に簡易防鹿柵を設置し、シカの影響を排除した下での植生の回復状況をモニタリングする地点を2箇所（Re-7、Re-8）設置し、草本層の植被率と高さに着目し、植生の回復状況のモニタリングを実施している。H23 は、簡易防鹿柵内の処理区においてヒメミヤマスマミレ等の被度の回復が見られた。
希少植物調査	利用調整による、歩道周辺における希少植物の生育環境への負荷の軽減度合いを把握することを目的とする。その指標として、歩道沿いに分布する希少植物の生育状況に着目する。	希少な植物種として指標種に定めた9種について、分布状況、個体数、生育状況等について調査を実施した結果、今年度は2地点において、人為による盗採とみられる希少植物の消失が確認された。
蘚苔類被度調査	利用調整による歩道周辺等における地表性蘚苔類への負荷の軽減度合いを把握することを目的とする。その指標として、被度等の群落動態に着目する。	群落面積の減少も一部に見られるが、一時的と考えられる。影響の原因としては、これまでに拡大した歩道からの流水や積雪の崩れ及び豪雨による洗掘、落葉の堆積による被覆、シカによる攪乱が考えられ、利用調整地区設定以後の人の踏圧による影響と判別されるものはなかった。

【動物】

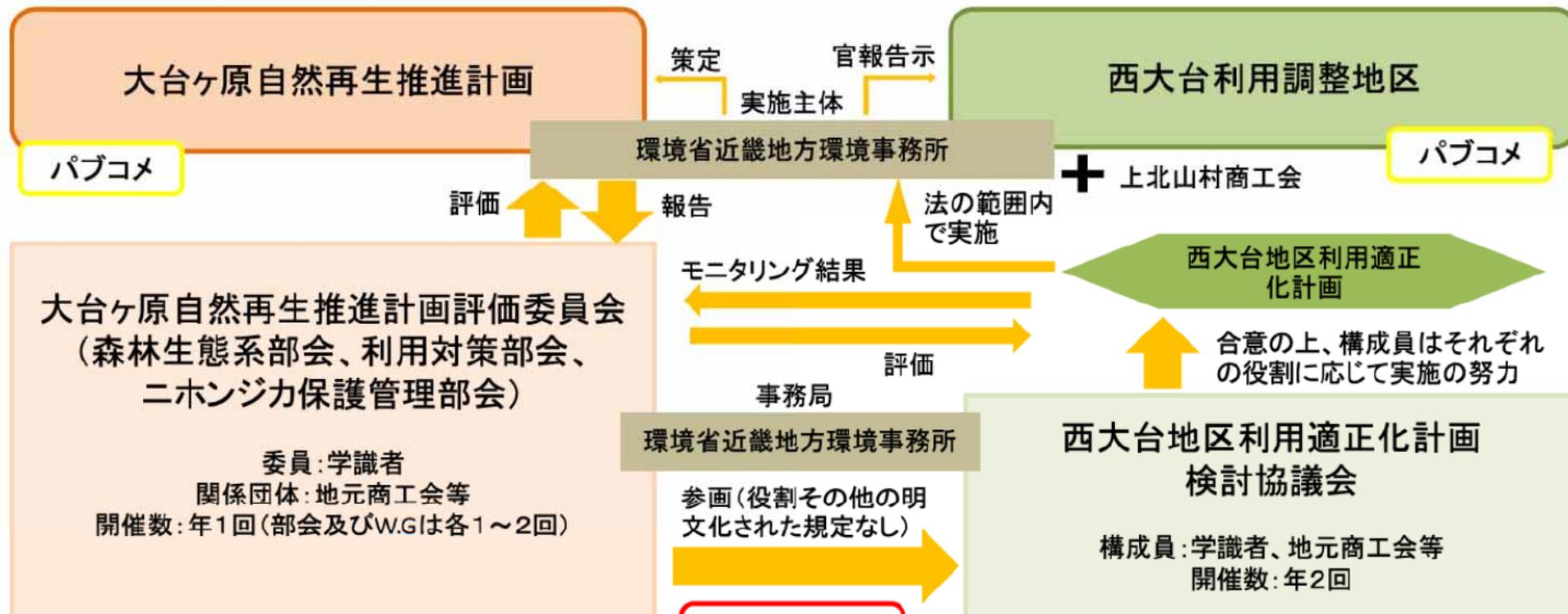
調査項目	目的と指標	評価概要
土壌動物調査	利用調整による土壌動物群集の生息環境への負荷軽減度合いを把握することを目的とする。その指標としてトビムシとササラダニに着目する。	※ H23 は調査を実施していない。
鳥類調査	西大台における繁殖鳥類群集が良好な状態で保たれていることを把握することを目的とする。その指標として、鳥類の繁殖状況に着目する。調査は、自然再生推進計画のモニタリング調査のうち野生動物に関する植生タイプ別調査におけるテリトリーマッピング調査結果を活用する。	※ H23 は調査を実施していない。

【利用の在り方】

調査項目		評価概要
利用実態	認定関係事務の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成 23 年 1 月 24 日(月)より指定認定機関として上北山村商工会が立入認定事務を実施した。 開山期間中の立入認定者数は、合計 2,062 人であった。 延べ上限人数(11,600 人)に対する比率は 17.8%で、平成 22 年度(15.5%)から 2.3 ポイント上昇した。 認定者数の多かった 5 月、10 月でも 500 人強となっており、利用調整地区が指定される以前は、1,000 人を超える入山者数を記録する月もあったことからすると、利用集中を防ぐ効果が見られている。
	巡視及び違反者等への指導状況	<ul style="list-style-type: none"> 無認定立入者への指導は 8 人と平成 22 年度の 16 人より減少している。 無認定立入者に対しては、巡視により発見し次第、制度を説明して退出を指示する等、適切に指導を行った。無認定立入者を更に減らしていくため、引き続き巡視を徹底する必要がある。
利用者意識	事前レクチャーに関するアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> レクチャーの長さ、内容、配付冊子に関しては、過半数の受講者が満足と回答しており、不満足との回答は僅か(5%以内)であった。
	西大台利用調整地区利用後のアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> 利用調整地区への満足度について 7 割以上の利用者が満足と回答し、再訪の意向を示していた。
利用施設	歩道状況調査	<ul style="list-style-type: none"> 複線化については、誘導ロープ等の設置等により、大部分が解消されつつあった。 洗掘については、依然として改善傾向はみられなかったが、一部、今年度の台風等により、さらに荒廃が進行した箇所もあった。 全体として、複線化箇所などの歩道周囲の植生は少しずつ回復しており、利用調整地区の指定によって、利用者による影響が緩和されていると考えられた。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、西大台歩道の在り方について、ワーキンググループを設置し、頂いた意見等を踏まえて「西大台利用調整地区『大台ヶ原周回線歩道事業』個別事項対応案」を取りまとめた。

【総合評価】

- 西大台利用調整地区は、人為の影響による新たな植生の悪化は認められず、一部で蘚苔類の回復が見られるなど、過剰利用からの回復過程にある。ただし、過去の人の利用により歩道が複線化した箇所等では降雨や動物の影響等により洗掘が続いているため、蘚苔類の回復が妨げられている箇所もある。
- 利用集中を防ぐ効果が見られるものの引き続き利用動向について注視していくとともに、歩道の複線化や洗掘が進行しないようモニタリングを実施する。また、事前レクチャーについては、ビジターセンター等からのヒアリングを行い、内容の一層の改善を図るべく検討を進める
- 無認定の立入り及び植物の盗採(希少植物の消失について確認)の違法行為が確認されたことから、引き続き、監視の強化などの対策が必要である。



問題認識

- ・大台ヶ原全体(東大台・西大台・ドライブウェイ・ビジターセンター・駐車場・ガイド・民間事業施設)の利用に関する取り組みについて、必要な利害調整や実現可能性を検討する体制が十分でない。(大台ヶ原自然再生推進計画評価委員会に地元関係者が委員として参画していない。また、西大台地区利用適正化計画検討協議会は、西大台利用調整地区を対象としている。)
- ・大台ヶ原自然再生推進計画評価委員会の西大台地区利用適正化計画検討協議会への参画の仕組みが明確化されていないことから、両者の関係が曖昧となり、結果として西大台利用調整地区に関する合意形成が難航する場合がある。
- ・環境省から委嘱された学識者(委員)と地域を代表する各団体の代表とでは、利害調整のための議論の深掘りが困難。
- ・予算の都合上、年間の会議の開催数が限定されることから、十分な議論が進まない。

今後の大台ヶ原の利用に関する検討の進め方(案)

議論の対象の明確化と場の集約化

- 西大台地区利用適正化計画検討協議会を、関係機関・団体・民間で構成する組織に改組し、大台ヶ原の利用に関する取り組みにおける必要な利害調整や実現可能性の検討を行うなど、議論の対象の明確化と場の集約化を図る。また、必要に応じて、大台ヶ原自然再生推進計画評価委員会の目的・構成等も見直す。

環境省、奈良県、上北山村及び指定認定機関の役割の明確化

- ビジターセンター、歩道(利用調整地区含む)及び駐車場(アプローチ道路含む)は大台ヶ原の利用における核となる施設であることから、これらの運用上の責任者である環境省、奈良県、上北山村及び指定認定機関である上北山村商工会の立場と関係者の関係を明確にすることにより、改組される協議会において実現可能性の高い議論が可能となるようにする。

外部からの意見を求める仕組みの構築

- 幅広い関係者の参画を得るため、大台ヶ原の利用者、自然環境保全に意見を有する者、その他の外部の意見を収集し、大台ヶ原の利用に関する取組に反映させる仕組みを設ける。

(考え方)

大台ヶ原の保護と利用

保護

- 環境省において実施。(自然公園法第21条3項等の行為許可を基本として、シカ個体数調整、防鹿柵、ラス巻、ササ刈り、稚樹の育成・植樹等の積極的な保護策)
- 評価委員会は環境省の計画策定及び実施結果について評価を行う。

利用

- ビジターセンター、歩道及び駐車場を中心として、マイカー利用のあり方、ガイド育成、東大台の利用のあり方など様々な議論に対応すべく、新たな協議会の設立をもって検討を進める。
- 新たな協議会で合意されるものを各々実施。
- 評価委員会は助言を行う。

各種調査から把握した利用者数と利用に係る諸条件の日別一覧

大台ヶ原の利用者数に関するデータと大台ヶ原の利用に関わる天気、降水量、大台ヶ原ドライブウェイ(DW)の通行状況のデータを日別に整理した。

表 1 平成 23 年度 利用者数と利用に係る諸条件の日別一覧 (1/3)

日付	曜日	①大台ヶ原利用者数(VC)		②大台ヶ原利用者数(MT)	③東大台入山者数	④西大台認定者数	⑤西大台入山者数	⑥天気	⑦日降水量		⑧DW通行状況	
		旧推計式	新推計式						日降水量	備考 ^{注1)}		通行状況
4/21	木	153	75	-	25	-	-	-	1.0		○	DW15:00冬期閉鎖解除
4/22	金	135	66	198	138	0	0	曇	3.0		○	
4/23	土	108	53	145	17	2	0	雨	28.0		○	
4/24	日	648	321	325	162	0	0	晴	0.0		○	
4/25	月	203	102	166	35	0	0	晴	0.0		○	
4/26	火	210	103	101	50	0	0	曇	0.0		○	
4/27	水	97	57	70	35	2	2	曇	75.0		○	
4/28	木	115	66	190	75	0	0	晴	2.0		○	
4/29	金・祝	1,149	603	678	487	15	8	晴	0.0		○	
4/30	土	1,668	829	952	636	37	30	晴	0.0		○	
5/1	日	385	198	320	131	24	10	雨	6.0		○	
5/2	月	964	486	650	397	16	16	晴	0.0		○	
5/3	火・祝	1,685	856	880	617	29	29	曇	2.0		○	
5/4	水・祝	2,702	1,357	1,466	1,072	39	39	曇	0.0		○	
5/5	木・祝	1,040	529	777	428	17	15	曇	0.0		○	
5/6	金	429	213	388	151	4	3	曇	3.0		○	
5/7	土	333	173	331	160	6	3	雨	14.0		○	
5/8	日	861	446	592	264	32	32	曇	0.0		○	
5/9	月	377	186	238	75	3	3	晴	0.0		○	
5/10	火	160	88	172	84	6	6	曇	8.0		○	
5/11	水	194	114	125	71	0	0	雨	31.0		○	
5/12	木	108	53	40	3	3	0	雨	47.0		○	
5/13	金	153	85	226	77	0	0	晴	1.0		○	
5/14	土	1,109	598	664	494	2	2	晴	0.0		○	
5/15	日	1,550	810	759	504	52	51	晴	0.0		○	
5/16	月	390	191	232	134	4	4	曇	7.0		○	
5/17	火	471	231	232	84	12	11	曇	2.0		○	
5/18	水	686	359	271	117	4	3	晴	0.0		○	
5/19	木	790	429	315	237	10	9	晴	0.0		○	
5/20	金	620	326	257	151	11	9	晴	0.0		○	
5/21	土	1,599	944	997	816	28	23	晴	0.0		○	
5/22	日	798	449	399	244	45	39	雨	3.0		○	
5/23	月	212	123	145	81	0	0	雨	18.0		○	
5/24	火	530	308	318	224	24	24	雨	20.0		○	
5/25	水	972	515	441	266	8	8	晴	0.0		○	
5/26	木	474	293	253	158	21	17	雨	12.0		○	
5/27	金	158	97	101	64	8	8	雨	26.0		○	
5/28	土	535	330	284	185	56	36	雨	35.0		○	
5/29	日	115	66	56	7	51	23	雨	84.0		△	雨量規制全面通行止め(11:00開始)
5/30	月	54	26	95	5	2	0	雨	9.0		△	雨量規制全面通行止め(7:30解除)
5/31	火	463	238	191	274	7	7	曇	0.0	1	○	
6/1	水	311	172	177	85	9	8	雨	28.0	3	○	
6/2	木	189	92	152	120	6	4	雨	15.0		○	
6/3	金	541	282	285	131	6	6	曇	0.0		○	
6/4	土	1,722	890	777	607	63	55	晴	0.0		○	
6/5	日	1,135	605	521	344	18	18	晴	1.0		○	
6/6	月	607	329	227	124	11	10	曇	0.0		○	
6/7	火	156	77	88	34	0	0	曇	2.0	6	○	
6/8	水	277	145	171	70	0	0	雨	4.0	7	○	
6/9	木	618	347	282	148	14	14	曇	0.0	7	○	
6/10	金	297	178	156	299	4	4	曇	13.0	6	○	
6/11	土	160	88	133	57	29	0	雨	108.0		○	
6/12	日	647	318	262	128	52	35	曇	59.0		○	
6/13	月	313	163	124	87	0	0	曇	23.0		△	雨量規制全面通行止め(0:40開始、10:00解除)
6/14	火	476	234	228	122	1	1	曇	0.0		○	
6/15	水	392	193	254	84	8	7	曇	0.0		○	
6/16	木	72	35	106	8	1	0	雨	41.0		○	
6/17	金	178	97	108	16	3	2	雨	5.0		○	
6/18	土	416	204	261	196	4	4	曇	14.0		○	
6/19	日	351	172	196	253	5	4	雨	21.0		○	
6/20	月	90	44	118	50	0	0	雨	40.0		○	
6/21	火	81	40	78	9	1	1	雨	20.0		○	
6/22	水	172	95	142	50	0	0	晴	0.0		○	
6/23	木	236	118	108	43	0	0	曇	0.0		○	
6/24	金	288	143	143	47	3	3	晴	0.0		○	
6/25	土	695	349	457	181	4	0	晴	0.0		○	
6/26	日	786	398	550	231	4	4	晴	3.0		○	
6/27	月	317	157	123	21	2	2	曇	13.0		○	
6/28	火	373	198	276	85	0	0	晴	0.0		○	
6/29	水	485	241	307	100	0	0	晴	0.0	6	○	
6/30	木	636	327	348	124	1	1	晴	0.0	7	○	

表1 平成23年度 利用者数と利用に係る諸条件の日別一覧(2/3)

日付	曜日	①大台ヶ原利用者数(VC)		②大台ヶ原利用者数(MT)	③東大台入山者数	④西大台認定者数	⑤西大台入山者数	⑥天気	⑦日降水量		⑧DW通行状況	
		旧推計式	新推計式						日降水量	備考 ^{注1)}	通行状況	備考 ^{注2)}
7/1	金	99	48	94	24	0	0	雨	5.0	7	○	
7/2	土	690	349	416	202	6	6	曇	16.0		○	
7/3	日	818	432	515	239	6	6	晴	0.0		○	
7/4	月	137	67	111	53	0	0	曇	10.0		○	
7/5	火	252	125	199	38	2	2	晴	3.0		○	
7/6	水	451	231	219	85	2	2	晴	10.0		○	
7/7	木	117	57	90	11	0	0	雨	43.0		○	
7/8	金	292	156	254	59	0	0	晴	1.0		○	
7/9	土	958	491	757	289	0	0	晴	0.0		○	
7/10	日	819	409	1,144	233	10	8	晴	0.0		○	
7/11	月	318	166	270	96	4	4	曇	0.0		○	
7/12	火	302	153	295	84	0	0	晴	0.0		○	
7/13	水	528	262	290	99	5	5	晴	0.0		○	
7/14	木	517	268	327	151	1	1	晴	0.0		○	
7/15	金	551	274	314	127	5	5	晴	0.0		○	
7/16	土	1,955	993	1,130	717	19	16	晴	0.0		○	
7/17	日	3,011	1,522	1,740	1,004	50	47	晴	13.0		○	
7/18	月・祝	275	154	167	43	13	10	雨	226.0		△	雨量規制全面通行止め(11:00開始)
7/19	火	0	0	4	0	0	0	雨	541.0		×	雨量規制全面通行止め
7/20	水	0	0	18	0	0	0	雨	46.0		×	雨量規制全面通行止め
7/21	木	0	0	84	161	0	0	雨	3.0		×	雨量規制全面通行止め(12:00解除)、災害規制全面通行止め(12:00開始)
7/22	金	18	9	83	30	2	0	雨	1.0		×	災害規制全面通行止め
7/23	土	597	299	259	143	6	6	曇	0.0		△	災害規制全面通行止め(6:00解除)、迂回路①
7/24	日	936	471	484	504	5	3	晴	3.0		△	迂回路①
7/25	月	171	84	86	184	0	0	曇	1.0		△	迂回路①
7/26	火	315	161	109	130	4	2	曇	0.0		△	迂回路①
7/27	水	180	88	84	29	2	2	曇	0.0		△	迂回路①
7/28	木	231	114	105	65	4	2	曇	0.0		△	迂回路①
7/29	金	239	118	103	59	2	2	曇	0.0		△	迂回路①(19:00解除)、迂回路②(19:00開始)
7/30	土	769	389	345	215	2	2	曇	9.0		△	迂回路②
7/31	日	761	377	486	346	4	4	曇	3.0		△	迂回路②
8/1	月	117	57	108	59	4	2	雨	156.0		△	迂回路②
8/2	火	313	163	144	74	0	0	雨	35.0		△	迂回路②
8/3	水	471	241	202	159	0	0	晴	0.0		△	迂回路②
8/4	木	414	205	262	92	8	0	雨	32.0		△	迂回路②
8/5	金	189	92	102	17	0	0	雨	128.0		△	迂回路②
8/6	土	783	397	341	209	15	15	曇	21.0		△	迂回路②
8/7	日	1,076	561	556	371	8	8	晴	1.0		△	迂回路②
8/8	月	404	201	304	106	2	2	晴	0.0		△	迂回路②
8/9	火	579	288	333	173	0	0	晴	7.0		△	迂回路②
8/10	水	612	299	282	146	4	2	晴	0.0		△	迂回路②
8/11	木	627	308	341	158	0	0	晴	0.0		△	迂回路②
8/12	金	912	461	548	306	10	10	晴	0.0		△	迂回路②
8/13	土	1,268	628	898	384	4	4	晴	32.0	1	△	迂回路②
8/14	日	1,962	972	1,091	670	22	22	晴	0.0		△	迂回路②
8/15	月	1,599	794	781	467	15	14	晴	0.0		△	迂回路②
8/16	火	1,446	719	609	353	22	20	曇	0.0		△	迂回路②
8/17	水	813	413	431	247	8	7	晴	2.0		△	迂回路②
8/18	木	582	296	266	137	30	30	曇	1.0		△	迂回路②
8/19	金	297	145	184	77	5	5	雨	18.0		△	迂回路②
8/20	土	604	308	275	259	12	12	曇	2.0		△	迂回路②
8/21	日	435	213	239	127	11	11	曇	24.0		△	迂回路②
8/22	月	296	146	154	86	2	2	曇	5.0		△	迂回路②
8/23	火	239	118	166	67	0	0	晴	0.0		△	迂回路②
8/24	水	481	256	227	88	30	30	曇	10.0		△	迂回路②
8/25	木	162	79	118	19	11	8	雨	44.0		△	迂回路②
8/26	金	336	175	140	63	7	7	曇	17.0		△	迂回路②
8/27	土	674	352	431	203	28	27	曇	1.0		△	迂回路②
8/28	日	1,192	605	670	416	18	17	晴	0.0		△	迂回路②
8/29	月	692	342	311	140	0	0	晴	0.0		△	迂回路②
8/30	火	640	333	289	159	7	7	晴	10.0		△	迂回路②
8/31	水	135	66	113	23	2	2	雨	170.0		△	迂回路②
9/1	木	27	13	19	0	0	0	雨	316.0		△	雨量規制全面通行止め(7:30開始)、迂回路②
9/2	金	0	0	4	0	0	0	雨	547.0		×	雨量規制全面通行止め
9/3	土	0	0	2	0	0	0	雨	423.0		×	雨量規制全面通行止め
9/4	日	0	0	7	0	0	0	雨	333.0		×	雨量規制全面通行止め
9/5	月	0	0	17	19	1	0	雨	4.0		×	雨量規制全面通行止め
9/6	火	0	0	30	4	6	0	晴	0.0		×	雨量規制全面通行止め
9/7	水	69	35	130	17	0	0	晴	0.0		△	雨量規制全面通行止め(9:00解除)、迂回路②
9/8	木	126	62	92	22	0	0	晴	0.0		△	迂回路②
9/9	金	144	70	59	15	0	0	晴	0.0		△	迂回路②
9/10	土	192	95	146	45	18	0	晴	0.0		△	迂回路②
9/11	日	230	116	132	62	9	3	雨	3.0		△	迂回路②
9/12	月	137	67	85	21	0	0	雨	10.0		△	迂回路②
9/13	火	194	96	124	47	3	0	晴	0.0		△	迂回路②
9/14	水	305	179	113	89	1	0	晴	0.0		△	迂回路②
9/15	木	348	212	130	48	6	2	曇	5.0		△	迂回路②
9/16	金	237	145	69	17	1	1	雨	179.0		△	迂回路②
9/17	土	74	36	57	8	10	0	雨	69.0		△	迂回路②
9/18	日	317	155	178	49	16	11	雨	13.0		△	迂回路②

表1 平成23年度 利用者数と利用に係る諸条件の日別一覧(3/3)

日付	曜日	①大台ヶ原利用者数(VC)		②大台ヶ原利用者数(MT)	③東大台入山者数	④西大台認定者数	⑤西大台入山者数	⑥天気	⑦日降水量		⑧DW通行状況	備考 ^{注2)}
		旧推計式	新推計式						日降水量	備考 ^{注1)}		
9/19	月・祝	264	130	116	57	10	8	晴	31.0		△	迂回路②
9/20	火	108	53	41	24	0	0	雨	155.0		△	迂回路②
9/21	水	0	0	9	0	2	0	雨	394.0		△	雨量規制全面通行止め(1:50開始)、迂回路②
9/22	木	45	22	76	2	0	0	雨	1.0		△	雨量規制全面通行止め(13:00解除)、迂回路②
9/23	金・祝	413	204	188	39	7	5	晴	0.0		△	迂回路②
9/24	土	572	285	257	38	14	10	晴	0.0		△	迂回路②
9/25	日	340	176	124	54	11	11	雨	37.0		△	迂回路②
9/26	月	234	114	106	24	1	1	雨	7.0		△	迂回路②
9/27	火	300	147	133	11	0	0	晴	0.0		△	迂回路②
9/28	水	284	140	142	11	7	2	晴	0.0		△	迂回路②
9/29	木	225	110	125	51	6	0	晴	0.0		△	迂回路②
9/30	金	162	79	51	136	0	0	晴	2.0		△	迂回路②
10/1	土	436	224	222	108	17	11	晴	0.0		△	迂回路②
10/2	日	507	263	232	177	6	6	曇	0.0		△	迂回路②
10/3	月	248	141	122	74	0	0	晴	0.0		△	迂回路②
10/4	火	244	130	117	50	0	0	晴	0.0		△	迂回路②
10/5	水	135	66	81	9	0	0	曇	17.0		△	迂回路②
10/6	木	195	107	73	29	1	1	雨	1.0		△	迂回路②
10/7	金	331	172	155	85	0	0	曇	0.0		△	迂回路②
10/8	土	957	471	409	311	8	7	晴	0.0		△	迂回路②
10/9	日	2,004	1,019	960	758	34	22	晴	0.0		△	迂回路②
10/10	月・祝	995	494	518	406	25	25	曇	0.0		△	迂回路②
10/11	火	385	200	218	109	0	0	晴	0.0		△	迂回路②
10/12	水	532	281	239	164	0	0	晴	0.0		△	迂回路②
10/13	木	237	117	119	90	5	5	曇	2.0		△	迂回路②
10/14	金	158	97	98	36	0	0	雨	79.0		△	迂回路②
10/15	土	337	243	90	144	14	9	雨	40.0		△	迂回路②
10/16	日	1,318	732	571	487	54	51	晴	6.0		△	迂回路②
10/17	月	1,002	521	376	245	42	42	晴	0.0		△	迂回路②
10/18	火	1,070	543	452	322	11	11	晴	0.0		△	迂回路②
10/19	水	1,038	568	407	360	5	5	曇	0.0		△	迂回路②
10/20	木	804	404	446	172	4	4	曇	1.0		△	迂回路②
10/21	金	225	110	176	28	3	3	曇	46.0		△	迂回路②
10/22	土	413	251	145	172	39	22	雨	102.0		△	迂回路②
10/23	日	1,717	913	697	638	42	35	晴	2.0		△	迂回路②
10/24	月	767	396	376	240	5	5	曇	0.0		△	迂回路②
10/25	火	484	256	242	127	5	5	曇	0.0		△	迂回路②
10/26	水	1,183	600	554	376	25	19	晴	0.0		△	迂回路②
10/27	木	1,370	693	567	365	42	42	晴	0.0	8	△	迂回路②
10/28	金	834	419	414	229	0	0	晴	0.0	7	△	迂回路②
10/29	土	2,029	1,067	846	679	11	8	晴	0.0		△	迂回路②
10/30	日	593	339	190	137	64	47	曇	12.0		△	迂回路②
10/31	月	439	234	249	89	50	43	曇	12.0		△	迂回路②
11/1	火	613	310	318	236	0	0	曇	0.0		△	迂回路②
11/2	水	502	255	259	192	2	2	雨	2.0		△	迂回路②
11/3	木・祝	2,011	1,035	745	677	12	11	曇	2.0		△	迂回路②
11/4	金	896	460	411	290	21	21	晴	0.0		△	迂回路②
11/5	土	799	433	271	281	21	19	曇	11.0		△	迂回路②
11/6	日	266	150	131	55	34	33	雨	7.0		△	迂回路②
11/7	月	324	158	158	64	1	1	雨	2.0		△	迂回路②
11/8	火	471	231	244	117	2	2	曇	0.0		△	迂回路②
11/9	水	448	229	199	96	2	2	晴	0.0		△	迂回路②
11/10	木	137	67	123	100	0	0	曇	6.0		△	迂回路②
11/11	金	90	44	55	1	9	0	雨	47.0		△	迂回路②
11/12	土	873	431	468	282	0	0	晴	0.0		△	迂回路②
11/13	日	1,197	604	596	437	7	7	晴	0.0		△	迂回路②
11/14	月	248	122	209	85	0	0	晴	0.0		△	迂回路②
11/15	火	258	128	163	56	0	0	曇	0.0		△	迂回路②
11/16	水	282	139	275	71	9	7	晴	0.0		△	迂回路②
11/17	木	342	177	185	86	0	0	晴	0.0		△	迂回路②
11/18	金	117	57	119	12	0	0	曇	1.0		△	迂回路②
11/19	土	178	97	149	15	4	0	雨	112.0		△	迂回路②
11/20	日	491	243	230	91	2	1	雨	0.0		△	迂回路②
11/21	月	227	111	121	59	0	0	曇	0.0		△	迂回路②
11/22	火	333	163	189	66	0	0	晴	0.0		△	迂回路②
11/23	水・祝	340	176	158	270	13	12	曇	2.0		△	迂回路②
11/24	木	180	88	103	39	0	0	晴	0.0		△	迂回路②
11/25	金	266	131	145	40	0	0	曇	0.0		△	迂回路②
11/26	土	561	275	316	157	0	0	晴	0.0		△	迂回路②
11/27	日・祝	631	323	360	172	6	6	晴	0.0		△	迂回路②
11/28	月	162	79	61	28	6	6	曇	0.0		△	迂回路②
11/29	火	144	70	62	18	2	2	晴	0.0		△	迂回路②
11/30	水	201	101	118	30	0	0	晴	0.0		△	迂回路②
12/1	木	-	-	-	-	-	-	-	-		-	DW15:00冬期閉鎖
	合計	116,965	60,321	63,749	36,613	2,062	1,666					

データ出典等

- ①大台ヶ原利用者数(VC)：大台ヶ原ビジターセンター調による。(単位：人)
- ②大台ヶ原利用者数(MT)：ドライブウェイ交通量計測調査から推計した利用者数。(単位：人)
- ③東大台入山者数：入下山者カウンター調査による。(単位：人)
- ④西大台認定者数：西大台利用調整地区の認定者数。(単位：人)
- ⑤西大台入山者数：西大台利用調整地区の認定者数からキャンセル数を減じた値。(単位：人)
- ⑥天気：ふれあいコーディネーター日報による。

「晴」：晴、晴のち曇、晴のち雨、晴時々曇、晴時々雨等、終日又は朝の段階で、入山に適した状態の日。

「曇」：曇、曇のち晴、曇のち雨、曇時々晴、曇時々雨等、終日又は朝の段階で、入山は可能である状態の日。

「雨」：雨、雨のち晴、雨のち曇、雨時々晴、雨時々曇、霧、雪、台風等、終日又は朝の段階で、入山に適さない状態の日。

- ⑦日降水量：国土交通省「水文水質データベース」大台ヶ原(電発)観測所(日出ヶ岳)の時間雨量月表から日降水量を算出。(単位：mm)

- ⑧DW 通行状況：奈良県道路管理課による。

○：全日通行可能

△：通行可能であるが一部制限あり又は一日の中で通行止めの時間帯を含む

×：全日全面通行止め

注1) 日降水量備考

備考欄の数値は、当該日の欠測時間を示す。

注2) DW 備考

迂回路①：県道大台河合線～林道辻堂山線(乗用車以下に限る。6:00～19:00 一方通行時間規制、夜間通行止め。)

迂回路②：村道和佐又伯母峯線(車幅 2.3m、長さ 7m 以下に限る。24 時間通行可能。但し、村道入口に関し、国道 169 号から南行きは左折禁止のため、1.5km 先にて転回後右折進入のこと。)

西大台利用調整地区「大台ヶ原周回線歩道事業」個別事項対応案

近畿地方環境事務所

1. はじめに

西大台利用調整地区区域の概要（公園計画書 H18. 12. 26 抜粋）

西大台は冷温帯性広葉樹林のウラジロモミブナ群落が分布しており、西日本の太平洋側においてブナが優先する森林がまとまってみられる貴重な地域となっている。

西大台を含む大台ヶ原では、様々な要因で森林生態系の衰退が進行しているが、東大台と比べて相対的に良好な自然林が残されている西大台においても下層植生や後継樹の減少などが確認されており、また、施設整備が積極的に行われていないことから利用による影響を受けやすい状態にあるとともに、利用の増加、利用者のマナー低下が見うけられ、景観への影響が懸念される。よって、一定のルールとコントロールの下で適正な公園利用を行い、自然環境への負荷の増大を防ぐとともに、より質の高い自然体験を享受する場として持続的な利用を図り、将来世代に自然環境を承継する。

2. 個別事項対応

西大台利用調整地区指定の目的を達成するため、西大台は、吉野熊野国立公園の中でも特に自然性を保持している特性を活かし、極力自然の状態を維持する。

利用調整地区の維持に当たっては、地域内の自然性を維持するため、特に施設の整備は原則として行わない。ただし、植生の保護及び利用者の安全を確保する観点から特に必要な場合は、この限りでない。

利用のコントロールのための歩道・施設の維持にあたっては、植生の保護及び利用者の安全の確保に限定し、普及啓発、事前周知による対策の可能性について十分検討した上で必要最小限に留める。

また、人為的影響により植生が荒廃した場所については、荒廃の進行を抑制するために必要な措置を講じる。荒廃した植生の自然回復が困難な場所については、植生復元措置を講じる。

(1) 歩道における標識等の誘導方法について

歩道上に設置している誘導標識については、原則増設しない。ルートに関する効果的な周知方法として、ガイド付帯の推奨、事前レクチャーやセルフガイド冊子、ホームページ、パンフレット等による整備状況の周知を実施する。

現在設置している誘導標識、誘導ロープについて、位置、機能を確認するとともに、その必要性を検討し、不要なものについては時機を見ながら撤去する。

同時に登山道の分岐点等、道迷いの可能性の高い場所、道迷いが発生している箇所について確認するとともに、誘導ロープ及び誘導標識を必要最小限設置する。

なお、今後設置する誘導標識については意匠や表示内容の統一をおこなうものとする。

(2) 渡渉点について

渡渉点の位置を明示する為のロープを設置するとともに、登山者に対し渡渉点の存在の事前周知をHPや事前レクチャーで行うこととする。

今後、河川環境の状況変化等により渡渉が困難となった場合にはルート変更もしくは架橋など施設整備を含めて検討し適切な対策を講じる。

(3) 休憩場所について

利用者が無秩序に登山道脇の土地を利用することによる植生荒廃や土砂流出の進行を防ぐため、必要と判断される場合は、現場周辺倒木等をそのまま使用するなど簡易な腰掛け程度のものを設置し、休憩場所の範囲をある程度限定し、明確化する。

(4) 倒木・枯木について

枯木については利用者に危険を及ぼすと確認された場合は、安全面から伐採等により必要な処置を講ずる。

倒木については登山道利用に障害となる場合、利用による複線化を誘発するため、登山道機能を確保するための処理を行う。

なお、傾倒しながらも生存している樹木については、利用者に対し速やかに通過することを促す看板を設置するなどの措置を講じる。

(5) 洗堀への対応について

利用者の歩行や雨水の流下による登山道の洗堀は、放置することにより、路面が荒廃することで歩行困難な状況となり、迂回路の発生を誘発したり、流下した土砂が堆積し周辺の植生に影響を及ぼすため、その必要性について検討した上、措置を講じる。

なお、措置に当たっては、倒木や周辺の転石（苔むしてないもの）を使用し、水の分散が図れるよう考慮する。

(6) 複線化への対応について

植生保護の観点から、複線化を解消するための方策（ロープや倒木の設置による誘導等）を実施する。心理的に複線化を誘発するような箇所については、既存歩道を利用者が自然に選択するような改善を行う。（例、樹木の根などで段差が大きいところに岩などを設置し、段差を小さくする措置）

なお、改善に当たってはできるだけ現地発生材を用いる。

3. 今後の検討課題

(1) 利用調整地区の出入り口における施設について

事前レクチャーを受けた者が利用調整地区へ立ち入る場合、また、無断での立ち入りや、誤って立ち入ることを防止するため、利用者が認識しやすいよう、現状の標識の整理統合を検討する。

(2) トイレについて

利用の状況の見極めや地域全体の管理システムの構築を視野にふまえて検討する。

平成 24 年度西大台利用調整地区の運用計画

1 利用調整を行う期間

平成 24 年 4 月 27 日（金）から 11 月 30 日（金）まで

※県道大台ヶ原公園川上線（大台ヶ原ドライブウェイ）の開通期間。なお、11 月末は冬期通行止めのため変更の可能性がある。

2 1 日あたりの立入可能な人数の上限

○ 利用集中期の土日祝日 : 100人

○ 利用集中期の平日、利用集中期以外の土日祝日 : 50人

○ 上記以外の平日 : 30人

※1 団体（2 人以上を団体とする）の利用申込みは、最大 10 人まで。

3 利用集中期（カレンダー参照）

過去の台ヶ原の利用実態に基づき、以下の期間を利用集中期として設定する。

○ 春期：平成 24 年 4 月 27 日（金）から 6 月 17 日（日）まで

○ 夏期：平成 24 年 8 月 11 日（土）から 8 月 19 日（日）まで

○ 秋期：平成 24 年 9 月 22 日（土）から 11 月 4 日（日）まで

4 指定認定機関

上北山村商工会が、指定認定機関として、引き続き立入認定事務を行う。平成 24 年度の立入については、平成 24 年 1 月 27 日（金）から受付を開始する。

5 認定手続きの変更点

小処温泉方面からの入山者に限定して、上北山村商工会にて事前レクチャーを実施予定。

6 事前レクチャー

実施期間：平成 24 年 4 月 27 日（金）から 11 月 30 日（金）まで

実施場所：大台ヶ原ビジターセンターレクチャールーム

上北山村商工会

実施者：近畿地方環境事務所（請負事業者含む）・上北山村商工会

時間割：以下の時間割を予定。

大台ヶ原ビジターセンター		
	利用集中期の平日・ 通常期のすべての日	利用集中期の土日祝日
①	無し	7:30～8:00
②	8:30～9:00	8:30～9:00
③	9:30～10:00	9:30～10:00
④	10:30～11:00	10:30～11:00
⑤	11:30～12:00	11:30～12:00
⑥	16:00～16:30	16:00～16:30

上北山村商工会	
利用集中期、通常期の平日	
①	無し
②	8 : 30 ~ 9 : 00
③	9 : 30 ~ 10 : 00
④	10 : 30 ~ 11 : 00
⑤	11 : 30 ~ 12 : 00
⑥	16 : 00 ~ 16 : 30

(8/13~8/16を除く)

7 巡視

実施期間：平成24年4月27日（金）から11月30日（金）まで毎日

実施者：環境省（自然保護官及びアクティブレンジャーによる巡視の他、環境省の巡視業務を請け負った者が職員の指示のもと複数人数で実施）

8 モニタリング

利用調整の効果について評価を行う際の基礎資料を得るため、以下の事項について継続調査（モニタリング調査）を実施。調査結果は大台ヶ原自然再生推進計画評価委員会の森林生態系部会及び利用対策部会で評価を行う。

＜モニタリング調査項目＞

- ・自然環境の状態に関する事項：植物相、動物相調査
- ・利用の在り方に関する事項：利用実態等に関する調査を実施

9 普及啓発

西大台利用調整地区の制度について、引き続き報道機関への情報提供・取材協力、ホームページの運用や広報資料の配布、展示会への参加等による幅広い普及啓発を実施する。

普及啓発の実施に当たっては、ホームページのリニューアルを行い、大台ヶ原の魅力をより広く社会にPRする。上北山村商工会がレクチャー場所に加わった事など、西大台利用調整地区における制度の変更等についても周知するように十分配慮する。

10 自然ふれあいプログラムの提供等

エコツアーの実施等、周辺地域の関係機関等と連携したプログラムを検討する。

11 結果報告

利用調整期間終了後、各種モニタリング調査及び運用結果について整理・分析し、本協議会において報告を行うとともに、ホームページにより公表する。

平成 24 年度 利用集中期の設定

4月						
月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5月						
月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

6月						
月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

7月						
月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8月						
月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

9月						
月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

10月						
月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11月						
月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

利用集中期

※ 利用調整期間 4/27～11/30（冬季通行止めの期日により変更あり）
 利用集中期 4/27～6/17、8/11～8/19、9/22～11/4 計 105 日